

<社会>

行政長官に親中派の林鄭月娥氏が選出

3月26日、香港政府のトップを決める行政長官選挙が行われ、1,200名の選挙委員による投票の結果、林鄭月娥（英語名：キャリー・ラム）氏が777票を獲得し当選しました。香港が中国へ返還されて20年目にあたる今年、返還記念日の7月1日に、初の女性行政長官が誕生します。

<林鄭月娥氏はどんな人？>

1957年、香港生まれの林鄭氏は現在59歳。数学者の夫との間に2男がおり、本人を含め家族全員がイギリス国籍を取得しています。香港大学を卒業後、香港政庁に入庁し、社会福利署長や香港駐ロンドン経済貿易弁事所長などを経て、2012年に香港政府ナンバー2にあたる政務官に就任しました。2014年に起こった大規模デモ「雨傘運動」の際には、政府を代表して学生団体と対話。断固とした態度で学生たちの要求を拒否したことから「鉄の女」といわれています。

「雨傘運動」での対応をきっかけに、香港市民の支持率は低下しましたが、一方で中国中央政府の確固たる支持を得ることとなり、今回の当選につながりました。

<日本への影響は？>

林鄭氏は総じて親日と言われており、昨年香港で開催されたイベント「日本秋祭 in 香港」のオープニングセレモニーに出席するなど、在香港の日本人にも馴染みのある人物です。また、林鄭氏はマニフェストの中で「2段階の利得税制度や研究開発向け投資に対する税の優遇を導入する」と掲げており、香港に進出する日系企業にとってもメリットとなる可能性があります。



<「日本秋祭 in 香港」セレモニーに出席した林鄭氏（右から3番目）。林鄭氏の左は安倍明恵首相夫人>



<林鄭氏の当選を伝える記事>

<これからの香港はどうか？>

2014年の大規模デモ「雨傘運動」以来の行政長官選挙となった今回の選挙では、中国政府に批判的な民主派や本土派の動きが注目されましたが、親中派が7割を占める選挙委員による選挙において民意は反映されず、中国政府が推す林鄭氏が圧勝する結果となりました。林鄭氏は支持率の低さや民主派の動きを念頭に、「分断を修復し、市民を団結させることが最重要の仕事になる」と語っていますが、年々強まる中国政府の意向を配慮しながら、いかに香港市民の支持を得ていくか、林鄭氏の手腕がこれから問われることとなります。

企業の銀行口座開設トラブルが改善

昨年以降、香港の金融機関で口座開設が断られるケースが多発しており、特に外資系企業や中小企業、新設企業に対しては、申請の約10%が却下されるとの実情が公表されています。この事態を重く見た香港金融管理局（以下、HKMA）は、金融機関各行に改善を求め、その結果、直近の調査で、却下される確率が5%に低下したとの状況が報告されました。

多くの金融機関が導入したのが口座開設の再審査システムで、申請がいったん却下されても、銀行幹部職員の再審査を申請できるものです。この制度の利用により多くのケースで口座開設が成功したと紹介されています。また、中国4大銀行の一つである中国銀行は、中小企業の顧客獲得を目的に、口座開設の手続きに他行が約15営業日かかるのに対して、最短で5営業日で開設できるよう、審査のスピードアップを図っています。HKMAもまた、口座開設に関する専用ページや専門窓口を設けるなどして、口座開設難を緩和する措置を取っていく方針です。

HKMAは、口座開設トラブルの改善に努める一方で、マネーロンダリング防止を目的に、顧客確認プログラム「KYC（Know Your Customer）」を導入し、すでに開設済みの口座に対して、詳細な口座情報を求める方針です。具体的には、口座の使用目的、使用状況、事業内容、所有者情報、資金源などの情報を求め、提供がない場合には口座を止める可能性もあるということです。

資産運用等を目的に、香港の金融機関に口座を開設する日本人が多くいますが、今後は開設後の口座管理にも留意する必要があるようです。

香港・広東省の見本市予定（2017年5月～2017年7月）

香港

見本市名	場所	期間
HOFEX2017（国際食品・飲料・レストラン・サービス展）	HKCEC	5/8～5/11
第 87 回香港ウェディング展	HKCEC	6/2～6/4
HK Beauty & Fitness Expo 2017	HKCEC	6/2～6/4
第 31 回国際旅行展	HKCEC	6/15～6/18
香港宝石&貴金属フェア	HKCEC	6/22～6/25
香港ブックフェア 2017	HKCEC	7/19～7/25

※ HKCEC：香港コンベンション&エキシビジョン・センター

広東省

見本市名	場所	期間
第 6 回国際鉄骨建築・資材展	PWTC	5/12～5/14
第 31 回国際プラスチック・ゴム展	琶洲会場	5/16～5/19
第 27 回シューズ&皮革関連フェア	琶洲会場	5/31～6/2
第 15 回国際自動車部品展	PWTC	6/2～6/4
広州国際照明展	琶洲会場	6/9～6/12
広州国際電気工学・建築展	琶洲会場	6/9～6/12
第 17 回インポートドリンク&フード展	琶洲会場	6/16～6/18
第 18 回オーガニックフード展	琶洲会場	6/16～6/18
深圳工業オートメーション展	SZCEC	6/28～6/30
第 19 回中国国際建築装飾展	琶洲会場	7/8～7/11
広州国際 クロスボーダーE コマース&グッズ展	琶洲会場	7/21～7/23

※PWTC：保利世界貿易中心（広州）

※琶洲会場：中国出口商品交易会琶洲展示館（広州）

※SZCEC：深圳コンベンション&エキシビジョン・センター

上記の見本市は予定が変更になる場合もありますのでご留意下さい。

★トピックスレポート（香港人スタッフ便り）★

「ポケモンGO」に熱狂した香港

昨年香港では、スマートフォンのゲーム「ポケモンGO」が大ブームとなりました。昨年7月6日にアメリカで配信後、日本に次ぐアジア2カ国目として香港に上陸したのは7月25日でした。日本のアニメが大人気の香港では、ポケモンがすでに香港の人々に馴染みのあるキャラクターだったこともあり、アジアの中でも先駆けて配信されたのです。

配信と同時に、香港の人々は「モンスターハンティング」態勢に入りました！プレイヤーはGPSを頼りに、モンスターが集まるホットスポットを求めて、公園、地下鉄、オフィスビル、オーシャン・パークやディズニーランドなどの遊園地、さらには香港一高い山・大帽山（タイモーション）まで、様々な場所を歩き回りました。プレイヤーの中には、仕事の後、旺角（モンコック）から大埔（タイポー）まで、約22キロを歩いた人もいたそうです。ホワイトカラーのサラリーマンたちが、お昼休みになると、政府庁舎近くのタマール公園や大型ショッピングモールに集まり、休憩時間を惜しんでゲームに夢中になる姿は、不思議な光景に見えたかもしれません。

「ポケストップ」近くの飲食店は、店舗の外に「ポケモントレーニング」を謳った看板を出し、売上げを伸ばしました。しかし一方で、店舗の中を通るだけのプレイヤーも多くいたことから、お金を払わないプレイヤーの来店を制限するといった店も現れました。

ゲームのおかげで、プレイヤーの平均歩数は、ゲーム配信前の一日約5,600歩から、配信後は7,600歩まで伸びました。これは、心臓発作の危険を8%低下させる効果があります。このように「ポケモンGO」は、運動不足の現代香港人の健康にも寄与したのです。

残念ながら、「ポケモンGO」の人気は長続きせず、ブームは台風のように去ってしまいました。「熱しやすく、冷めやすい」といわれる香港人の気質をまさに象徴するゲームだったかもしれません。